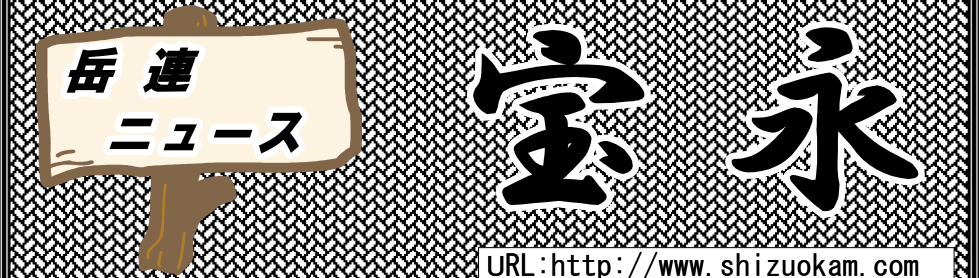


岳連
ニュース

宝 永

URL: <http://www.shizuokam.com>



国体は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするものである。

第72回国民体育大会「笑顔つなぐえひめ国体」は、「君は風 いしづちを駆け 瀬戸に舞え」をテーマに実施された。山岳競技は、10月1日～3日の間、西条市で開催され、本県からは、成年男子チームと東海大会で勝ち抜いた少年男子チームが参加した。結果は、成年男子・少年男子の両チームとも、実力を発揮できず入賞できなかったが、両チームの健闘を大いに讃えたい。

(総監督 滝田博之)

【成年男子】1日(土)ボルダー予選近年、我が国におけるボルダリング日本代表の

屋はカートリッジ式で荷揚げ時にヘリで降ろし処理している。

各県の活動報告の後、二軒小屋の少し北、地下400mを通るリニア工事の現状を質問された。トンネル掘削による、大井川の水量減少対策として導水路工事を始めた。山梨県側着工したが本工事は始まっていないと報告。

基調講演は「白山信仰と文化遺産」を演題に、石川県山岳協会副会長石森氏。又、白山と頭について高山植物、ハクサンフーローなど18種と富士山のフジアザミ19種、伊吹山日光、箱根が紹介された。(豊田 稔)

日時 9月4日(月) 18時30分

場所 労政会館会議室

出席者 滝田博之、清水雄三、木ノ内高嘉、出利葉義次、諸戸明、豊田稔、工藤誠志、堀内修、高橋弘、松永義夫、増田浩二、市川隆夫、内海廣治、田中保広、内山一彦、坂田昇、浅井徹、鈴木修、前川朝夫



部分で力尽きてフォールしてしまつた。多少、体勢が悪いなかでも一手を出していく力強さや、体の振られを止める体幹などを高めていかなければいけないと感じた。

ボルダリングでは、オプザベーションをしてすぐに競技開始だったので、ムーヴについては選手の発想力、対応力が問われることとなった。原は調子が良く、キレのある動きを見せたが、片桐は少々体に力が入っていて、普段の力が発揮できなかった。それぞれが一課題ずつを完登し、終了した。

日本のユース代表とも勝負することになるので、大きな大会で経験をいかに積んでいけるかが課題となると思う。

また、今大会で始めてトレーナーの帯同をお願いした。今回は大会期間中にしか選手とか関わらなかったが、東海ブロック大会あたりから、継続的にケアができると良いと感じた。選手の強化のためにどのようなことができるか、考えていきたい。(監督 岩田幸裕)



海外登山計画

①ロシア カフカス山脈 エルブルース登山(5642m) 期間18年08月08日～19日(12日間)の予定。

②インドヒマラヤ、ストツクカンリ登山(6153m) 期間19年08月上旬～中旬(12日間)の予定。

説明会 10月10日、H30年2月6日「来てこ」

③日山協 海外登山委員 総会出席 期日 7月22日～23日 場所 立山。

・その他

①東海ブロック正副会長・理事長会議 静岡が担当し、焼津市で開催した。滝田会長、木ノ内理事長の2名が出席した

(2)「秋山登山教室紅葉の白山を登ろう」募集15名、10月14日～15日 現在参加者 5名

(3)スポーツフェスティバル 期日 10月28・29日 山伏、牛首の頭周辺、3コースを設定。

(4)中健康安全登山講習会 参加申込者 現在38名 登山コースの再下見、役割分担等の打合せおこなつた。

(5)愛媛国体 10月1日～3日 西条市 山岳競技選手団の発表 総監督 滝田博之、監督 成男 伊藤裕貴、同少男 岩田幸裕 トレーナー 少男 稲垣裕介 選手 成男 田邊匡律、鈴木正信・少男 原賢伸 片桐綾真

今年は、トレーナーを派遣することにした。

(6)中級レスキュー研修会 11月18・19日 会場 西湖 観岳園、講師 堤信夫氏で計画した。

(7)高校クライミングコンテスト 兼ジュニアクライミングコンテスト 第1回9月18日、第2回12月26日、第3回30年3月14日、浜松スクエア。本大会から、高校生以外に中学生以下のジュニア層が参加できるようにした。

(8)第19回竜爪岳競技会 12月10日(日) 役員が必要なため、ご協力をお願いします。(前川朝夫)

(9)H30岳連カレンダー 300部作成、1部千500円、ご協力をお願いします。(前川朝夫)

静岡県山岳連盟
〒420-8076
静岡市駿河区八幡3-1-17
TEL(FAX) 054-288-7512
編集発行/総務委員会
平成29年11月20日発行
第23号

成男・少男入賞ならず 第72回国体 笑顔つなぐえひめ国体



成男は明治維新政府より「神仏判然令」が公布され奈良時代より続いた神仏習合が禁止され神道と仏教のはっきり分離され、白山信仰は神道となつた。

総会は過去最多の30都道府県が参集した。各県独自の自然観察会、高山植物保護活動、清掃登山、水質検査、放射能測定など自然保護活動を行なっている。

南アルプスを持つ静岡では、活動の母体として環境省自然公園指導員18名、県立自然公園指導員45名、県環境保全管理員、高山植物保護指導員394名、日山協自然保護指導員などが活動している。

南アルプス高山植物保護ネットワークの構成は、石川県高山植物保護協会静岡支部、県山岳連盟、市山岳連盟、高体連登山部、井川山岳会、(株)特殊東海フォレスト、勤労者山岳連盟が加盟して活動している。

内容は、高山植物の鹿等による被害に防鹿柵を聖平、茶臼岳、荒川岳、三伏峠へ。台風による表土流出を丸太柵工やヤシ製マットの敷設、又、木道を聖平、茶臼岳、光岳のセンシカ原に設け植生が少しずつよみがえってきている。南ア中部の山小屋のトイレは、バイオ式又は水洗で、避難小

山小屋泊自炊で 秋の登山教室 霊峰白山登山

秋の登山教室も、今回で3回目となった。本登山教室の狙いは、夏山登山教室のワンランクアップであり、具体的には「山で自炊の経験をする」ことで、テント泊登山への一つのステップにしたいという思いを持つての企画である。

参加申込者は、事前に行う2時間の座学を受講してもらった。



9月27日に行った座学のテーマは、「山小屋素泊まり登山に必要な装備と技術」である。前段の山での食事の講義は、自炊に必要な用具、そしてそれらを使った料理と献立がテーマである。用具

の解説では、実物を見せながら、宿泊数やパーティーの人数等によって持つていくものが違う、用具を購入する際は、「コンパクトで軽い」しかも「使いやすい」ものがいい。特に、今回の山行は、室

標高差1200mの登りを食材、燃料等を皆で分担して担ぎあげなくてはならないため、軽量化に配慮した献立計画を組む必要がある等を強調して話された。

後段の山小屋泊まりの講義では、山小屋を利用する際は、小屋番を始め、周りの宿泊者への気遣いをするのが大切、また、持ち物ではヘッドライト、地図・コンパス、雨具は、どんな小さな山でも必要であり、これを疎かにすると最悪の場合、命を失うことにもなる等を伝えた。

10月13日〜15日、「白山」の実技登山を迎えた。天気予報では、秋雨前線が日本上空に居座るため

それなりの覚悟をしていたが、結果的には、最終日15日の下山の敷時間を除いて、雨に降られることもなく、ほぼ快適な山行をすることができた。受講者は7名（女性4、男性3）で、彼らを講師3名がサポートする体制で臨んだ。

13日（金）は、道の駅九頭竜に、マイカー計4台に受講生・講師が乗合で集合し、テントにて仮眠。翌朝14日、九頭竜を出発。市ノ瀬ビジターセンターで必要な情報を仕入れ、別当出合駐車場（標高1260m）に到着。そこで、持ち寄った食材、共同装備の確認と分配。出発前に、講師からミニ講話「肩・腰等の痛くならないザツクの背負い方」を聞き、その後、みんなでストレッチ体操を行い、足、腰、手をしっかり伸ばしてから、砂防新道ルートで、今日の宿泊場所である白山室堂に向け出発した。9時15分。別当出合から甚ノ助小屋までは、紅葉かかった樹林帯の中を一步一步ゆっくりと足を進める。中飯

着。ここからは、黒ボコ岩まで展望のきく斜面上の道を登る。途中、延命水を経て、黒ボコ岩到着。ここで、景色、雰囲気はがらりと変わり、辺り一面、緑一色の這い松帯となる。黒ボコ岩からワンピッチで本日の宿泊地の白山室堂（標高2420m）に到着。ほぼ予定どりの時刻に到着することができた。14時15分。予定では、ここで、ゆっくりするところであるが、明日の天気が不安定のため、余分な荷物は小屋にデポし、体調不良の1名を小屋に残し、9名で白山（御前峰）の登頂を目指すこととした。

白山最高峰の御前峰（標高2702m）では、雲海が厚かったため、360度の展望はできなかったが、剣が峰、大汝峰、別山等の近場の山と、御岳山等の南側の山々を見ることができた。小屋到着後は、夕食準備である。持ち寄った炊事用具、食材を使い、クリームシチューと混ぜ込みご飯（アルファ米（白米））を、講師の指導のもと、2つの班に分かれてワイ

ワイガヤガヤ楽しく料理した。

翌日15日は、雲は厚いが、山頂はよく見える。昨日、体調不良の1名も十分の休養をとれたせいかわ復したので、今度は全員で登頂を目指すことになった。

山頂では、残念ながら雲に隠れてご来光を拝むことはできなかったが、今日は、参加者10名全員が登頂できたということで、感激ひとしおであった。「一回の山行で同じ山に2回も登頂するなんてめったにない、これもまたいい思い出」との声が聞かれた。

室堂到着後、朝食（雑煮）の支度。出来上がったところで、朝食を済ませ、室堂を出発、帰路も

砂防新道をとる。途中、黒ボコ岩辺りから雨が落ち始め、延命水あたりから本降りとなる。雨にぬれた登山道は、滑りやすい。一步一步気をつけながら下る。途中、甚ノ助避難小屋、中飯場で休憩をとり慎重に下り、別当出合到着。12時30分。別当出合の休憩所で講師によるミニ講話「搬送法」を聴く。ご本人の経験談を踏まえ、合羽一つあれば、その上下を組み合わせることで、楽にしかも安全に人を背負うことができることの実技指導、そして、山で事故に遭遇して救急隊に援助を要請する場合には、「山岳遭難」ですとはっきり言うことが大事など、貴重な話を伺った。

帰路の途中、白峰温泉郷の湯につかり、二日間の汗を流した。けがもなく、ほぼ予定通りのスケジュールで、秋の登山教室を終えることが出来た。山での歩き方、自炊のやり方等、ぜひ、今後の登山に活かしてくれればいいなと思う。

（田中保広）

全国大会出場者決まる

全国高校クライミング選手権大会予選

第18回高校クライミング競技大会が、12月に埼玉県加須市で行われる第8回全国高等学校選抜クライミング選手権大会の予選をかねて、11月3日（金）に、スクエアクライミングセンターで、4校24人（男子19、女子5）の生徒が参加して行われた。今回は、女子の参加が少なく残念であったが、高体連の理事長も観戦する中、熱戦が繰り広げられた。

女子の予選は、5番壁

を登る中間部がややトリックキーなルートであったが、浜松学芸の武田さんが唯一終了点に迫った（グレードは11d）。5名とも決勝進出。男子予選は、メイン壁の中央部に進むルートでルーフ部で苦戦する者が多い中、浜松日体の原君が唯一完登し、6名が決勝に進んだ（12c）。女子決勝は、6番壁から、メイン壁右側を登るルート（12a）で、浜松日体の高柳さんが最高到達点をマーク。浜松学芸

の武田さんと富士宮西の奥五澤さんが同地点でフォールし、予選にカウントバックし武田さんが全国大会2枠目を獲得した。

男子は、メイン壁の真ん中から左を進むルート（12d）で、ルーフを超えたのが4名でその中で、終了点に迫った原君が優勝、その1手前でフォーリスした浜松日体の砂子君の両名が全国大会への切符をつかんだ。

大会の結果、男子は2名、女子は3名

（学校団体枠1名を含む）が全国大会に駒を進めた。会場を提供して頂いた浜松スクエアさん、適切な

ルートセットをして頂いたピナクルの滝浪さん、および運営に協力してくださった多くの方々に感謝申し上げます。

全国大会出場者は次の通り。

男子1位 原 賢伸 2位 砂子由弥（浜松日体）

女子1位 高柳果歩（浜松日体） 2位 武田有未（浜松学芸）

「学校団体枠」 井内千裕（浜松日体）

（諸戸明）

中高年登山指導者講習会静岡で開催



会が9月22日〜24日の日程で静岡市で開催された。この講習会は静岡岳連が主管することとなり、年当初から準備に取り掛かり、会場の選定、要項の作成、実技会場の下見、打合せ会などを経て、ようやく実施の運びとなった。

1日目は「ファーストエイド」の講義を国際山岳医として活躍中の大城和恵講師から、「静岡県山岳遭難事故と救助」の講義を県警山岳救助隊長の鈴木久二康講師から受けた。2日目は、実技講習で竜爪山を牛妻から登り平山に下山した。山中の2か所でファーストエイドの実技を、けがや環境の状況を仮定して、二人一組で負傷者と救助者となり初期対応の手順を繰り返し学んだ。3日目は登山研の北村憲彦講師が「中高年登山者の現状と問題点」について講義を行った。中高年登山者の山岳事故が急激に増加していることを踏まえ、他力本願の登山から自立した登山者になることが肝要と説いた。

参加者からは有意義な講習会で、山岳会の中で伝達講習を行い、広く知らせたい、現場で使えるよう反復練習したいなど、前向きな感想が寄せられた。

（木ノ内高嘉）

山岳会紹介

昭和22年2月26日発起人11名で創立し、初代会長は、武者正明であった。創立当初は、日本平、竜爪山、浜石岳、愛鷹山を歩く程度であったが、夏山合宿では、北アルプス燕岳から東鎌尾根を経て槍ヶ岳に登っている。

その後、安倍山系の開拓をはじめ、富士山、南アルプス山城を活動の拠点とし、同年創立の静岡県山岳連盟とともに月日を重ね、県内でも長い歴史と伝統を有する山岳会に発展した。

地道に活動が続けた結果、いくつかの

清水山岳会

会長 滝田 博之

記録が生まれた。とりわけ、昭和26年富士山剣ヶ峰大沢奥壁冬期初登攀、昭和28年八ヶ岳赤岳西壁主稜冬期初登攀、昭和34年穂高滝谷ダイヤモンドフェース初登攀、昭和35年冬期南アルプス全山縦走などがある。

海外登山では、昭和43年と昭和50年にヨーロッパアルプスに遠征し、数多くの成果を収めた。その経験が、昭和54年静